



パイルロック NS-V

パイルロック NS-Vは、鋼矢板継手部に塗布することで、硬化塗膜が吸水膨潤して隙間を埋め、継手部の止水性を著しく高めることができます。

本製品は、従来よりご好評頂いておりますパイルロック NSの低温下での流動性や膨潤時の強度を改良した製品です。

◇特長

- 1) 特殊ウレタン系樹脂からなる1液型止水材。硬化促進剤の使用により、硬化時間の短縮が可能。
- 2) 揮発性の有機溶剤を含まず、塗布作業の安全性が高い。
- 3) 施工前に鋼矢板継手部に流し込み、硬化させるだけで通常の矢板と同様に施工できる。
- 4) 塗膜は、周辺の水質へ影響を与えない。
[H15環境省告示第18号土壌汚染対策法地下水項目不検出]
- 5) 引抜後は、ウォータージェット等で清掃可能。
- 6) 低温における流動性が良好で、作業効率に優れる。

◇各種特性

- 膨潤特性： 淡水で5倍、3%塩水中で4倍膨潤。
膨潤体膜強度は、従来品より優れる。[表1]
- 粘度特性： 従来品より流動性が良好で、かつ温度による粘度変化が少ない。
特に低温領域で粘度が低く、継手への流し込みが容易。[図2]

◇施工方法

- 1) 鋼矢板を作業し易いように並べる。
- 2) 継手部の浮き錆、泥、油、水分などを取り除く。
- 3) 塗布範囲継手部の両端を粘土、ガムテープ等で塞ぐ。
- 4) 硬化促進剤と良く混合、オイルジョッキに小分けし、継手部に流し込む。降雨が予期される場合は、シート等で保護する。
- 5) 硬化確認後、打込み作業を行う。
[気温20℃、湿度60%で、16時間程度。]
- 6) 打ち込み翌日には、止水性を発揮、排水・掘削等の作業が実施可能である。

◇注意点

- 1) 開缶後は、その日に使い切る。
- 2) 冬季は、硬化に時間がかかる場合がある。
- 3) 降雨時や、荒天の場合は、塗布作業は中止する。
- 4) 取扱い中は火気厳禁とし、換気を良くする。
[消防法危険物第4類第3石油類]
- 5) 密栓し直射日光を避け40℃以下の場所に、火気熱源から遠ざけて保管する。



図1 矢板継手部の膨潤状態

表1 膨潤特性

製品	重量膨潤率 [淡水/塩水]	膨潤体膜強度
パイルロックNS-V	5倍/4倍	5N
従来品[パイルロックNS]	5倍/4倍	4N

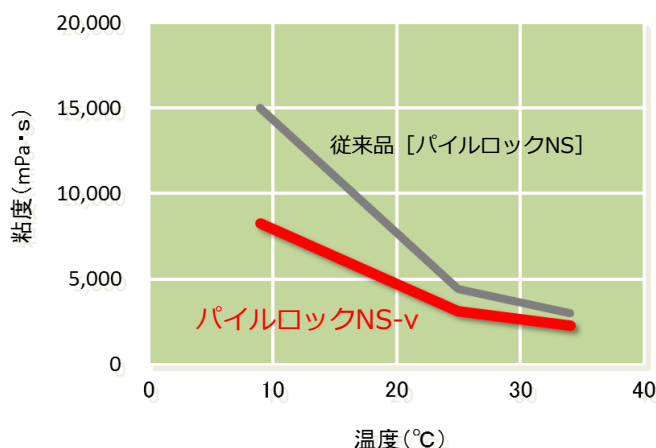


図2 粘度の温度依存性

表2 標準塗布量

矢板の種類	塗布量[kg/m]
Ⅱ、Ⅱw	0.18
Ⅲ、Ⅲw、Ⅳ、Ⅳw、ⅤL	0.20
Ⅵ	0.22

◇荷姿など

パイルロックNS-V		1.6 kg
硬化促進剤(春・夏・秋用)	K-1	0.5 kg
(冬および寒冷地用)	F-2	0.5 kg

◇止水性実験結果

実際の矢板を試験片として、耐圧性試験を実施し止水性を確認。

- 1) 使用矢板：IV型
- 2) 塗布量：0.2 kg/m[両爪]
- 3) 浸漬条件：3%塩水中×48時間
- 4) 耐圧試験結果：0.5MPaで漏れが無いことを確認 [水深50mに相当]

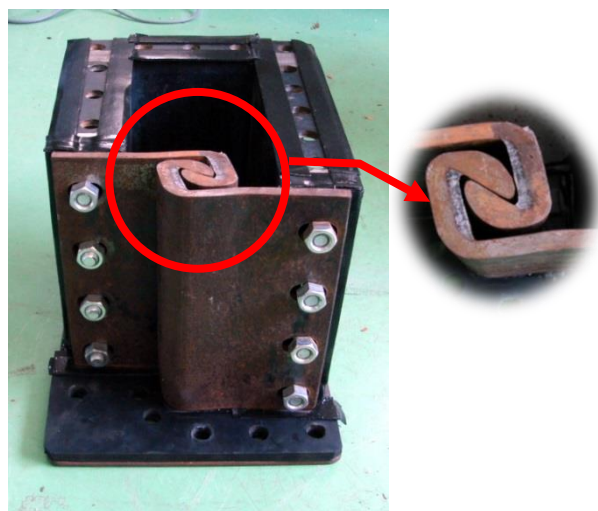
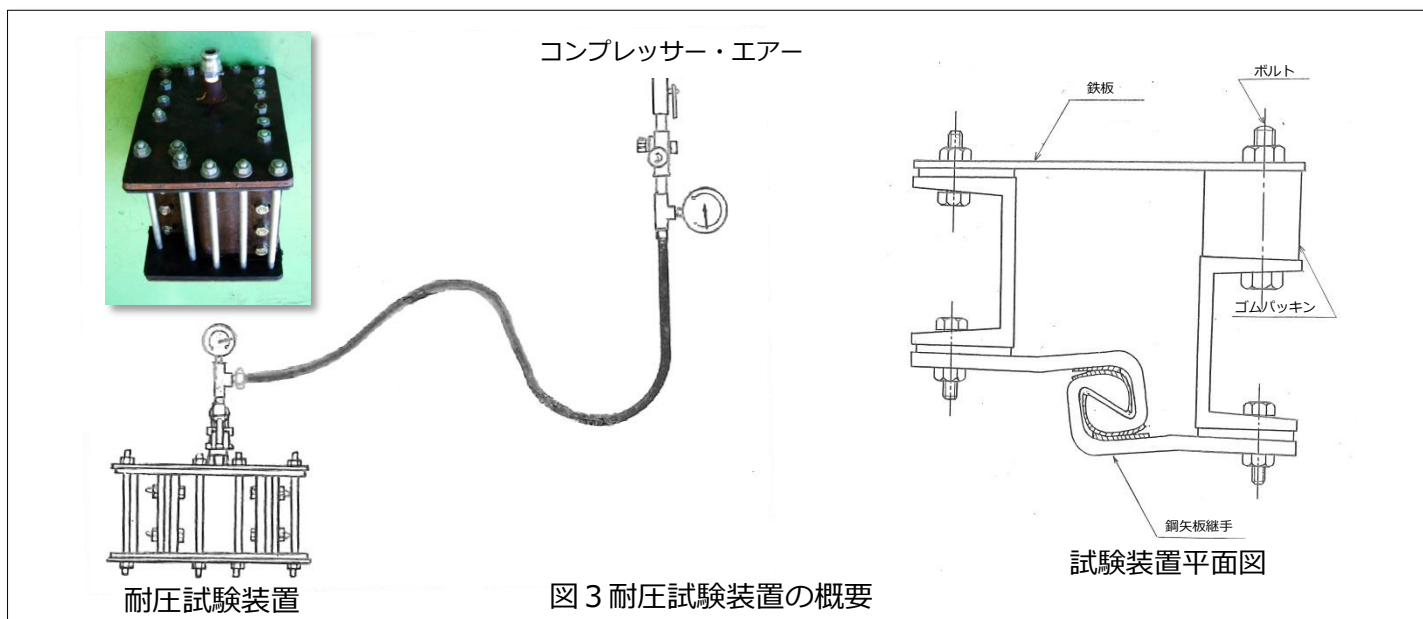


図4 試験片のセット状態

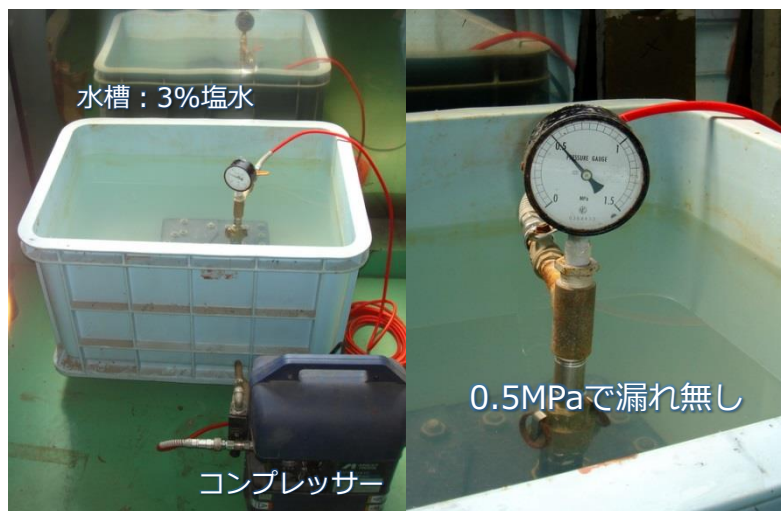


図5 加圧試験の状況



日本化学塗料株式会社

〒252-1111 神奈川県綾瀬市上土棚北4-10-43
Tel : 0467-79-5711
Fax : 0467-79-5477
URL : <http://www.ncpaint.co.jp>
Email : info@ncpaint.co.jp

お問い合わせ先